

第1学年道徳科学習指導案

指導者 能島 彰子

教材名：裏庭でのできごと

主題名：誠実な生き方（A－1 自主，自律，自由と責任）

学年・組 第1学年2組 （男子20名 女子16名 計36名）

場 所 1年2組教室（本館東側4階）

主題観

自ら考え、判断し、実行し、自己の行為の結果に責任をもつことが道徳の基本である。したがって、深く考えずに多数派に付和雷同したり、責任を他人に転嫁したりするのではなく、自らの規範意識を高め、自らを律することができなければならない。どのような小さな行為でも、自分で考え、自分の意志で決定したものであるとの自覚に至れば、人間は、その行為に対して責任をもつようになる。そこに、道徳的自覚に支えられた自律的な生き方が生まれ、自らの責任によって生きる自信が育ち、一個の人間としての誇りがもてるようになるのである。

本題材「裏庭のできごと」は、遊び仲間である健二、雄一、大輔の3人が、裏庭で物置の窓ガラスを2枚割ってしまう。2枚のうち1枚は遊びの中で割ったにも関わらず、大輔が先生に割った理由をごまかしたことによって、ガラスを割った当事者である健二は思い悩んでしまう。悩んだ末に自ら結論を出した健二の姿から、誠実な生き方とは、ごまかせるかもしれないという心の弱さに打ち克ち、逃げない心や自分の誇りを大切にしたい生き方であることを考えられる教材である。

生徒観

本学級の生徒は、Ai GROWを使用した分析によると、同じような気質をもった集団であり、感情コントロールができる生徒が多いクラスである。その一方で、自らの意思によって行動を起こし、自ら進んで取り組むことのできる個人的実行力や自分の考えと客観的な事実を照らし合わせながら判断し、物事を進めていくことのできる決断力などのコンピテンシーが低い傾向にあるクラスである。

実際の学校生活においても、体育大会に向けた取組や授業でのグループ学習などでは、仲間と協力しやすいと感じている生徒が多い一方で、好ましくない行動だと思ってもそれを主張することが苦手な生徒も多く、自律的な言動ができない場面が見られる。

図 Ai GROWによるクラスの資質・能力



指導観

主人公の健二の心情を追うことを通して、簡単に周りの考えに同調してしまったり、責任を誰かに転嫁してしまったりすると、いつまでも良心の呵責に悩まされることに気付かせたい。また、自分自身の弱さから逃げないことにつながり、それによって誠実で責任ある行動がとれるようになることを指導したい。

そこで、授業を導入・展開1・展開2・終末と分け、どのように行動すればよいかを自分のこととして捉えられるように工夫する。導入では、いけないと分かっているながらも事実を偽った経験について問い、自分の経験と重ねて資料に入っていけるようにしたい。展開1では、問題の深刻さに揺れる健二の心情を生徒の言葉で多く引き出し、その後葛藤を乗り越え誠実に行動しようと決心した健二の心情を考えさせることから、「誠実に実行」という道徳的価値について気付かせたい。展開2では、

資料には描かれていない、その後の3人の友だち関係について考えさせる。小グループでの話し合いを取り入れ、多様な考えを引き出すことによって、誠実に行動した結果がその後どのような展開に発展していくのかを考えさせ、「誠実に実行」という道徳的価値を高めたい。あまりにも3人の関係性が悪くなるような考えが出た場合には、切り返しの発問をすることによって主題に迫る考え方を引き出す。それらを踏まえて終末では、誠実な生き方について自分の言葉で表現させ、自分の生活で道徳的に正しい判断ができるようにつなげていきたい。

本時の学習

(1) 本時のねらい

誠実さは自分の弱さから逃げない心や誇りから生まれることを理解し、自分の行動に責任をもち、自らを律し、誠実に生きようとする判断力を育てる。

(2) 評価

誠実な生き方を支える逃げない心や自分の誇りに気付き、自らも誠実に生きようとする発言や記述が見られる。(授業での発言とワークシートへの記述で評価)

(3) 本時の学習展開

	学習活動	主な発問・予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 (5分)	1. 主題について課題意識をもつ	○やってしまった！と思ってもそのままにしてしまったことがあるか？それはどんなことか。 ・事前にとったアンケートの結果を見る	・全体で回答を共有する
展開1 (30分) 範読10分 内容整理5分	2. 教材の内容を把握する	・範読を聞く(※範読CDを活用) ・登場人物やあらすじなどについて確認する ○ガラスを割った時、3人はそれぞれどんな行動をとったか。 雄一：ガラスを割ったことを先生に報告した 大輔：事実を言わずにごまかした 健二：2枚目のガラスを割ったことを正直に言えなかった ○3人はどんな性格だろう。 雄一：真面目、正直 大輔：調子がいい、自分のことしか考えない 健二：優柔不断、弱い	・気が付いたことや思ったことを自分の言葉で表現させる ・テンポよく、3人の言動や関係性について整理する
5分	3. 葛藤している健二の心情を考える	○健二は、家に帰って鏡に映った自分の姿を見たとき、どんなことを考えたのだろう。 ・このまま自分が黙っていればばれることはない ・本当のことを言うと大輔との仲が悪くなってしまふかもしれない ・本当のことを言った方がよい	・「足取りが重いまま」「自問自答」などにも着目させ、長い時間葛藤している健二の気持ちに気付かせる
10分	4. 葛藤を乗り越えた健二の心情を考える	◎「僕、やっぱり松尾先生のところへ行ってくるよ。」の「やっぱり」には、健二のどんな気持ちが込められていたのだろう。 ・嘘をついたままでは後悔する ・大輔にもちゃんと伝えたら分かってくれる ・正直に言うことが正しい	・悩んだ結果、自分が正しいと思う行動をしようとして判断した健二の心情を理解させる
展開2 (10分)	5. その後の3人の関係性を考える	○3人の友だち関係はどのようになっていくと思いますか。(小グループ→全体) ・はじめは大輔が健二に対して怒っていたが、雄一が間に入ってまた仲良くなる ・健二が大輔にも自分の気持ちを正直に話し、また仲良くなる	・誠実に行動した結果が後悔しない生き方につながることに気付かせる

		・大輔と雄一が健二を無視するようになる	
		補 雄一はどう思っているのか 補 あなたが大輔でも無視するのか	
終末 (5分)	6. 本時の学習を振り返る	○自分が正しいと思う行動をとった健二の生き方から、どのようなことを考えましたか。	・導入のアンケート結果と関連させ、これからどのように行動していきたいか考えさせる

(4) 板書計画

○その後3人の関係性はどうなるのだろう

◎「やっぱり」にはどんな気持ちが入められているのだろう

○健二は鏡を見てどんなことを考えたのだろう



健二

- ・優柔不断
- ・弱い
- ・ガラスを割ったことを正直に言えなかった



大輔

- ・調子がいい
- ・自分のことし考えない
- ・事実を言わずごまかした



雄一

- ・真面目
- ・正直
- ・ガラスを割ったことを正直に言った



裏庭でのできごと